

京都あぐい便り



第70号

近畿農政局京都府拠点
発行: 令和5年12月26日

写真: 精華町「紅葉」

もくじ

- P 1・・・令和5年度農林水産関係補正予算について
- P 2・・・近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第7回）の選定結果について / 「みどりの食料システム戦略」を語る新たな動画公開！
- P 3・・・現場だより「バイオ炭の農地施用で二酸化炭素の発生を抑制し、環境保全価値が見える化！」亀岡クルベジファーマーズ（亀岡市）
- P 4・・・令和5年度オーガニックビレッジ全国集会の開催及び参加の募集について / 亀岡オーガニック農業スクール第一期生を募集します！ / 食料・農業・農村政策審議会 答申

令和5年度農林水産関係補正予算について

農林水産省は、令和5年度農林水産関係補正予算を取りまとめましたので、お知らせします。

詳細につきましては、以下のウェブサイトをご覧ください。

【令和5年度農林水産省関係補正予算の概要】

総額 8,182億円 **（公共：3,592億円）** うち、食料安保構造転換対策：2,113億円
（非公共：4,590億円） 物価高騰影響緩和対策：1,001億円
TPP等関連施策：2,527億円

1. 食料安全保障の強化に向けた構造転換対策
2. 物価高騰等の影響緩和対策
3. 「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施
4. 持続可能な成長に向けた農林水産施策の推進
5. 防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進



【ウェブサイトアドレス】

「令和5年度農林水産関係補正予算の概要」農林水産省ホームページ
URL: <https://www.maff.go.jp/j/budget/r5hosei.html>



【お問い合わせ先】

農林水産省 大臣官房予算課

代表: 03-3502-8111 (内線3164) ダイヤルイン: 03-3501-3716

近畿農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」 (第7回)の選定結果について

近畿農政局は、近畿の特徴ある優れた取組について、近畿農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として選定し、広く発信することにより他地域への横展開を図ることとしています。

今回、京都府からは「コミュニティ・地産地消部門」として1団体が選定され、令和5年12月19日(火曜日)に京都府拠点から選定証の授与を行いました。

【コミュニティ・地産地消部門】

特定非営利活動法人 障害・高齢者就労支援センターLINK'S(亀岡市)

【取組の概要】



就労継続A型利用者と支援者で田畑を耕す

LINK'Sは農家の人手不足、障がい者の雇用先の少なさを解決する1つの方法として、農福連携をスタートさせました。

当団体は、就労支援A型事業所として、亀岡市内の休耕田を地域の農家より借入し、京野菜、米、果実や、有機認証を取得した菌床椎茸とキクラゲを中心に栽培し、地域と共に取り組むことで、障がい者と高齢者の生活の安定を図っています。

【ウェブサイトアドレス】

「プレスリリース」近畿農政局ホームページ

URL:<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/231110.html>

【お問い合わせ先】

近畿農政局 農村振興部都市農村交流課 担当者:楠本、奥
代表:075-451-9161(内線2591,2592)ダイヤルイン:075-414-9065



選定証授与式の様子
りんくす

「みどりの食料システム戦略」を語る新たな動画公開！

～ビジネス界の有識者がみどり戦略に斬り込む～

農林水産省は、「みどりの食料システム戦略」をビジネス視点から有識者に語っていただく新たな動画を、ビジネス映像メディア「PIVOT」で公開しました。

多くの皆様に興味関心を持っていただき、持続可能な食料システムの実現に向けて行動したいと思っただけのような動画を目指しました。是非ご覧ください。



【ウェブサイトアドレス】

「プレスリリース」農林水産省ホームページ

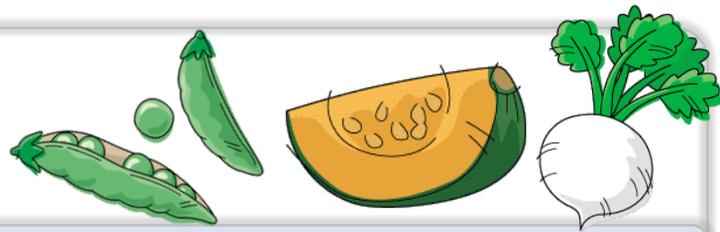
URL:https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/231122_24.html

【お問い合わせ先】

農林水産省 大臣官房みどりの食料システム戦略グループ 担当者:岩瀬、笠原、大依、朽木
代表:03-3502-8111(内線3296)ダイヤルイン:03-6744-2016



現場だより



バイオ炭の農地施用で二酸化炭素の発生を抑制し、環境保全価値を見える化!

亀岡クールベジファーマーズ会長 井上 保治さん（亀岡市）

京都府亀岡市で、バイオ炭の農地施用に取り組んでいる井上さんを訪問し、お話を伺いました。（取材：2023年11月）



亀岡クールベジファーマーズの井上さん

亀岡クールベジファーマーズの設立

井上さんは、14年前に脱サラして実家の農業を継ぎ就農。現在は、水田7ha、畑50aで、特別栽培米、麦・小豆及び野菜などの生産・販売を行っています。

2019年3月に、環境保全に対応した炭素貯留農地で農産物を生産する農業者グループ「亀岡クールベジファーマーズ」を設立（会長の井上さんを含めて6名の農業者が参加）。

亀岡クールベジファーマーズでもみ殻炭化機（写真の向かって右側の機械）を導入し、自前でバイオ炭（バイオマスからできた炭）の生産も行っています。



バイオ炭の農地施用で二酸化炭素の発生を抑制

亀岡市では、市と大学、そして生産者等が協働して、「亀岡カーボンマイナスプロジェクト」に取り組んでいます。放置竹林から出た竹や稲作のもみ殻などの未利用バイオマスを腐らせないで炭にし、それを農地に撒く（炭素貯留を行う）ことで、空気中への二酸化炭素の放出を抑制することができること考え、亀岡クールベジファーマーズでバイオ炭の農地施用に取り組んでいます。

バイオ炭は、菌の棲み処になること、保水力が良くなることなどから、土壌改良効果もあるとのことでした。



バイオ炭の農地施用

「クールベジシール」を貼付して、環境保全価値を見える化

一般社団法人日本クールベジ協会の「炭貯クラブ」に入会し、J-クレジットの「バイオ炭の農地施用プロジェクト」に参加。バイオ炭を施用した農地で栽培した作物を「クールベジタブル」（略して「クールベジ」という。）のブランド名で、環境保全価値を見える化して販売しており、環境保全意識が高い消費者の選択肢になればよいと言われていました。

今後は、カーボンフットプリント（各過程で排出された温室効果ガスの量を追跡し、二酸化炭素量に換算）の表示なども検討して行きたいとのことでした。



「クールベジシール」を貼付して販売

「亀岡クールベジファーマーズ」ホームページ URL: <https://kameokacoolvege.earth/>

令和5年度オーガニックビレッジ全国集会の開催

農林水産省では、「みどりの食料システム戦略」において、2050年までに、有機農業の取組面積を耕地面積の25%に当たる100万haまで広げる目標を掲げています。

さらなる拡大に向けて、市町村から取組状況をご報告いただくとともに、有機農業産地の取組を支える民間団体の取組等をご紹介いただく全国集会を開催します。

参加申込等については、以下のウェブサイトをご覧ください。

【開催日時及び場所】

開催日時：令和6年1月15日（月曜日）13時30分から17時00分

開催場所：Web開催（Zoom使用）

※申込締切：令和6年1月4日（木曜日）必着

【プログラム】

- オーガニックビレッジ取組市町村からの取組紹介
- 流通等事業者からの取組紹介
- 体系化された技術を全国各地で指導する団体からの取組紹介

【ウェブサイトアドレス】

「プレリリース」農林水産省ホームページ

URL：<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/231116.html>

【お問合せ先】

農林水産省 農産局農業環境対策課 担当者：大山、藤原
代表：03-3502-8111（内線4840）ダイヤルイン：03-6744-2114



亀岡オーガニック農業スクール第一期生を募集します！

亀岡市は有機農業推進の一環として、プロになりたい人、半農半Xで家庭菜園を楽しみたい人、まずは知識を身に着けたい人など、さまざまな形で「暮らしに農を取り入れたい」人に有機農業を学んでもらう「亀岡オーガニック農業スクール」を開校します。詳細につきましては、以下のウェブサイトをご覧ください。

【募集コース】

働き方や希望のスタイルに合わせた3つのコース

○プロ養成コース

プロ農家として新規就農を目指す～有機農家として生計を立てていくためのノウハウをしっかりと学ぶ

○スタディコース

半農半Xで栽培～有機家庭菜園を楽しみながら今までよりうまく野菜を作る

○オンラインコース

慣行農法から有機への転換を検討中、有機農業の知識をつけたい、企業などの社員教育の一環にも



【開校】

令和6年2月（第一期生）

※申込締切：令和6年1月20日（土）

【ウェブサイトアドレス】

「亀岡オーガニック農業スクールの受講生募集」外部リンク

URL：<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/30/56511.html>

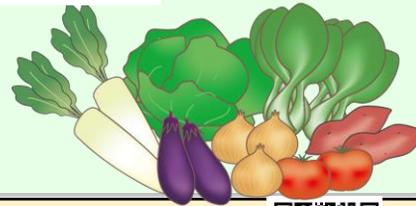
【お問合せ先】

○亀岡オーガニック農業スクール事務局（株式会社ビオかめおか）

電子メール：info@kameoka-organicschool.jp

○亀岡市 農林振興課有機・食農推進係（亀岡市役所3階）

Tel：0771-25-5036 Fax：0771-25-4400



食料・農業・農村政策審議会 答申

食料・農業・農村基本法

「答申（PDF：1,222KB）」農林水産省ホームページ

URL：<https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kensho/attach/pdf/17siryo-9.pdf>

お問合せ先：近畿農政局京都府拠点

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町 TEL：075-414-9015

ホームページ：<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/index.html>